

### 3 . 純資産変動計算書

純資産変動計算書とは、貸借対照表の純資産の部に計上されている各数値が1年間でどのように変動したかを表している計算書です。

純資産の部は、今までの世代が負担してきた部分です。この純資産変動計算書により、今までの世代が負担してきた部分が一年間でどのように増減したのかがわかります。

紀の川市の普通会計純資産変動計算書の要旨は、以下のとおりとなっています。( 詳細は27ページ参照 )

#### 純資産変動計算書(普通会計)の要旨

〔 自 平成20年4月 1日  
至 平成21年3月31日 〕

(単位:百万円)

	金額	
<b>期首純資産残高</b>	<b>90,245</b>	
<b>純経常行政コスト</b>	<b>20,350</b>	
<b>一般財源</b>		
地方税	7,119	} 17,380百万円
地方交付税	8,664	
その他行政コスト充当財源	1,597	
補助金等受入	3,397	
<b>臨時損益</b>	<b>12</b>	
<b>資産評価替えによる変動額</b>	<b>4</b>	
<b>その他</b>	<b>0</b>	
<b>期末純資産残高</b>	<b>90,664</b>	

(1年間の純資産の増減

419)

紀の川市の普通会計の純資産の変動の主な内訳としては、まず純資産のマイナス要因である純経常行政コスト20,350百万円に対して、プラス要因として一般財源17,380百万円、補助金等受入3,397百万円があります。

その結果、期末純資産残高が期首残高に比べ419百万円増加しました。

